

—発達障害児と暮らす—

ゆきよしクリニック
言語聴覚士 池浦一樹

発達障害児の現状を知ってください

発達障害

広汎性発達障害

- ・自閉症
- ・アスペルガー症候群
- ・小児期崩壊症候群
- ・レット症候群
- ・特定不能の広汎性発達障害

注意欠陥多動症候群

学習障害

発達障害

坂爪 一幸 氏 (早稲田教育評論第26巻 第1号より)

1996年頃から増加

- ・ 診断基準の変化
- ・ 知識普及に伴う社会的受容の拡大
- ・ 1980年頃から低出生体重児の増加

発達障害児の割合

早稲田教育評論 第26巻第1号 より資料を作成

	福地調査 (小学校:2007)	文科省調査 (小・中学校:2003)	都教委調査 (小・中学校:2002年)
障害名	調査全児童数に対する割合(%)		
学習障害	1.5	2.9	4.5
注意・欠陥多動症候群	1.1	2.7	2.5
高機能自閉症	0.8	0.9	0.8
発達障害全般	3.4	4.4	6.3

・某特別支援学校 在籍児童、学級数(1996→2008): 63名→120名 18学級→28学級

実際・・・

就学までがライン？

(専門職、専門機関との関わり)

第3者として向き合う

- これからの発達を視野に入れる必要性がある
- 発達段階に合わせて支援をかえる必要性がある
- 経験が不足している



長期にわたり専門的フォローが必要か...

親心は揺れ動く

ことばの奥にある心に触れること

理屈の部分と感情の部分の両方を受け止める

就学後の未来を決めるものは親力

- 行動力
- 知識、技術
- 考え方